

大崎上島町 社協だより

No. 234

2022(令和4)年10月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会 (TEL 0846- 62- 1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



サロンでつながる 瀬戸内イキイキプロジェクト



9月16日、明石サロンと広島国際大学・瀬戸内イキイキプロジェクトの学生とのオンライン交流を行いました。例年学生の講義がない土日開催のサロンしか参加できませんでしたが、オンラインの利点を活かして活動の幅を広げるために初めて平日のサロン開催となりました。今回はオンライン会議アプリ Zoom で明石会館と大学の講堂を繋ぎ、サロンの方や学生が参加した他、地域の活性化に取り組む株式会社 FRASCO 様や他大学の先生方もオンラインで参加しました。

みんなも明石に遊び
にきんさいよ～



いつまでも若々しく暮らす秘訣
を教えてくださいました



サロンの皆さん楽しい時間を
ありがとうございました～♪



2部屋に分けて交流しました



当日は、音声や映像のトラブルがありましたが、学生の健康クイズや、ブレイクアウトルーム機能を活用した少人数での交流、レクリエーションを行いました。最後にはみんなで恒例の瀬戸内イキイキプロジェクトのプロジェクトソング『わらって生きよう』を、この歌の作曲・編曲を担当した「げんきなこ」と一緒に歌い、踊りました。

明石サロンでは初めての取り組みで皆さん緊張していましたが、当日現地に來られた学生3人と、サロン協力員や地域の方の協力もあって、にぎやかに楽しく開催できました。学生とサロンの参加者で元気を分け合い、また開催してほしいという要望も出るなど、良い交流会となりました。

交流会が終わった後は、学生がサロンの参加者にインタビューを行い、島の魅力や健康のために気を付けていることなど、サロンの皆さんの“元気の秘訣”を学ぶことができました。



障がい者スポーツ大会を開催しました！！



10月8日（土）、ふれあいホール大崎にて、町身体障害者福祉協議会とわかばの会の会員が集まり、第18回障がい者スポーツ大会が開催されました。今年は新たなつながりとしてふれあい工房利用者も加わり、町長をはじめとする来賓の皆様、運営ボランティアもあわせて総勢約45名の参加となりました。

本大会は競技を通して障がいのある方がスポーツの楽しさを体験するとともに、健康の保持増進を目的に毎年開催されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け3年ぶりの開催となり、どなたでも無理なく参加できる種目やガンバルーンボール体操など参加者全員が一緒に楽しめるように工夫しました。



審判も熱が入ります！

☆老若男女、障害の有無に関わらず、誰もが一緒に楽しめる「ポッチャ」は、パラリンピックの正式種目で、白的玉に赤と青のボールを投げ合って、いかに近づけるかを競うスポーツです。



今回は会員からの要望で、スポーツ交流センターおりづるによる出前教室を開講し、新種目の「ポッチャ」を体験しました。思ったよりも難しく、ファインプレーが出ると観客席から拍手が沸き起こり、「座ったままでも、投げる力が弱くてもできるけえ楽しいわ！」と、皆さん笑顔で楽しんでいる様子でした。

「フライングディスク」では、なかなか思うように輪に入らず、「ディスクが小さくて難しかった！」と悔しい思いをされていました。

このスポーツ大会を通して、参加者同士交流も生まれ、勝敗だけにこだわらない和やかな雰囲気の中でスポーツ大会を終了することができました。コロナ禍での開催ではありましたが、参加した皆さんは久しぶりの大会を「楽しまれ」充実した大会で、笑顔いっぱいの1日となりました。

今回参加されたすべての皆様、ご協力いただきありがとうございました。何より、団体相互で協力して開催できたことが、主催者としてとても嬉しく、このスポーツ大会を開催する大切さを改めて感じる事ができました。今後も参加型の行事を企画していきますので、皆さん奮ってご参加ください！！

やってみよう！



真剣勝負

<プログラム・種目>

- ①ポッチャ
「おりづる職員による出前教室」
- ②ホールインワンゴルフ
- ③ジャンケンポン
- ④フライングディスク
- ⑤ガンバルーンボール体操

優勝	黄組	71点
準優勝	白組	65点
三位	青組	60点
敢闘賞	赤組	51点

来賓の皆さんにも競技にご協力いただきました！



様々な制度や仕組みを学び、支援に活かす！

令和4年9月20日（火）、大崎上島町介護支援専門員連絡協議会主催で、「知っておきたい将来に備えるお手続き」と題し、広島銀行 木江支店 藤本雄一 支店長を講師に招いて、オンライン形式（Zoom）で行われた研修会へ職員研修を兼ねて参加しました。



講師の藤本さん

今回の研修会では、認知症などにより判断能力がなくなった場合に備える信託（サービス）を紹介いただきました。

研修を通して、信託の仕組み（自分の大切な財産を信頼できる人に託しておくこと、自分の想いに沿った運用・管理ができること）が理解でき、大変勉強になりました。

ご相談があった際には少しでも不安を取り除いていただけるように、今回の学びを活かし、誰もが安心して地域で暮らし続けられるまちづくりにつなげていきたいと思っております。



高齢者の転倒事故に注意しましょう！！ — 転倒事故の約半数が住み慣れた自宅で発生しています —

消費者庁には、65歳以上の高齢者が自宅で転倒したという事故情報が5年間で275件寄せられており、後期高齢者では前期高齢者の2.2倍にもなっています。また、8割以上の方が通院や入院が必要なけがを負っていました。転倒によるけがは「頭」「顔・首」の「擦り傷、捻傷、打撲傷」が多いですが、次いで「脚・足」の骨折も多く、骨折をした場合は入院が必要となる高齢者が76%に上るなど、転倒事故によって深刻な状況を引き起こします。さらに、高齢者の自宅内での転倒事故には、下記のような特徴があります。



<転倒事故の発生場所>

■浴室・脱衣所 ■庭・駐車場 ■ベッド・布団 ■玄関・勝手口 ■階段

<転倒事故の状況>

■滑る ■つまずく ■ぐらつく ■引っ掛かる など

転ばぬ先の杖！転倒予防のための対策とは？

加齢に伴って、日常生活の中にも転倒事故のきっかけが増えていきます。住み慣れた自宅であっても、転倒予防のためには以下のような点に注意しましょう。

- (1) 個人に合った適度な運動をつづけ、身体の機能の低下を防ぎましょう。
- (2) 浴室や脱衣所には、滑り止めマットを敷きましょう。
- (3) 寝起きや夜間のトイレなどで、ベッドから起き上がる時や態勢を変えるときには慎重にしましょう。
- (4) 段差のある所や階段、玄関には、手すりや滑り止めを設置しましょう。
- (5) 電気製品の置き方を考え、通り道から電源コードを無くしましょう！
(床にはなるべく物を置かないようにするなど、整理整頓して生活の場を整えましょう)



参考 消費者庁：10月10日は転倒予防の日、高齢の転倒事故に注意しましょう

転倒は、寝たきりや閉じこもりに繋がり、要介護状態や場合によっては死亡に至るなどの深刻な事態をもたらします。また、本人だけでなく、家族にも、肉体的、精神的、経済的負担をもたらします。運動したり、適切な治療を受けたり、服用している薬剤について医師に相談したりすることで転倒のリスクを減らし、歳を重ねても健やかで心豊かに実りある生活を過ごすことができます。



《相談窓口・問い合わせ》大崎上島町地域包括支援センター ☎67-0022

大崎上島町木江5-9（木江保健福祉センター内）

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【令和 4 年 9 月 1 0 日 ~ 令和 4 年 1 0 月 1 4 日 お申し出分】

【生前のお礼】

- ・明石 高橋 美鈴 様 (故母 越智ナノコ様)
- ・中野 菅 孝博 様 (故母 ハルエ様)
- ・東野 松葉 博 様 (故母 茂子 様)
- ・中野 長門 栄治 様 (故母 弥生 様)
- ・中野 梶村 雅章 様 (故父 晁 様)
- ・中野 今井 清二 様 (故弟 泉生 様)

【香典返し】

- ・東野 佐伯 民子 様 (故夫 正夫 様)
- ・木江 小池 昌造 様 (故母 ハナコ様)
- ・中野 河下 直樹 様 (故父 護 様)
- ・原田 樽本 恵 様 (故父 孝博 様)

【一般寄付】

- ・中野 川本 孝司 様 (福祉車両借用のお礼)
- ・匿名 (2 名様)


お知らせ

在宅介護者家族会 ~11月はお休みです~

認知症の人と家族の会 ~ 11月定例会のご案内 ~

日 時：11月25日(金) 9:30~11:30

場 所：オレンジハウス 対象者：認知症状がある方、在宅で介護されている方

 家に帰ったらうがい・手洗い!   必要に応じてマスクをつけよう! 

第11回大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい 動画配信について

毎年11月3日に開催しております「大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい」は、今年度もYouTubeでの動画配信を行います。今回は当日ライブ配信ではなく、映像を編集し、後日ご覧いただけるように準備させていただくこととなりました。

お持ちのスマホ等の「YouTube アプリ」か、インターネット検索で、「大崎上島町社会福祉協議会 地域福祉係」と入力いただくと、本会のページが表示されますので、そこから動画をご覧いただくことが可能になります。

動画配信日につきましては、なるべく早くご覧いただけるよう努力いたしますが、より多くの皆さんにご覧いただくための編集を行いますので、お時間を頂きたいと思っております。

本件に関してのお問い合わせは、社協本所 ☎62-1718 (担当:波多野まで)



日本赤十字社広島県支部大崎上島町分区よりお知らせ 「赤十字幼児安全法講習会」を行いました!

9月9日、大崎開発総合センターで赤十字幼児安全法講習会を開催しました。赤十字幼児安全法指導員の中川久美子様にも乳幼児に起こりやすい事故やその対応方法について、実演を行いながら説明していただきました。

止血の方法や心肺蘇生の手順など、乳幼児だけでなく大人の場合にも対応した救命方法についてもお話しいただき、いざという時に役に立つ講習会となりました。



「社協だより」は、皆様からの社協会費・寄付金などにより、発行させていただいております。